



# GRACE インタビュー

## (山下 伶・はたけやま裕・細川千尋)

これまで数々のステージで共演してきたクロマチックハーモニカの山下伶、パーカッションのはたけやま裕、ジャズピアニストの細川千尋の3人が正式にトリオを結成。凛と美しく、優雅な独自サウンドを組み上げていく新星ジャズトリオ「GRACE」は、どのような音をステージで響かせるのだろうか。結成への思いからサウンドへのこだわりまで、3人に話を聞いた。

——GRACEはどのような経緯で結成されたトリオなんですか？

**山下** 「かわさきジャズ」で初めて3人で顔合わせをしたんですが、お互いのことを良く知らない時から、この3人で音を出したらどうなるんだろう？という期待があったんです。3年連続で出演させていただき、このトリオならではの音ができ始めていることを掴みつつある中で、この3人での演奏を続けたいと思うようになりました。そんな時にトリオを組むお話を頂いて、さらに今までにないサウンドが生まれたように思います。これからがすごく楽しみです。

**はたけやま** 最初から手ごたえは感じていたんですよ。それに音楽的な相性ももちろんなんですけど、人柄の相性も大切じゃないですか。そういう部分でもどんどん仲良くなってきて、続けたい気持ちはあったんです。本格的にトリオで始動してからは、ガラッと雰囲気も変わりました。それまではカラフルジャズというコンセプトだったんですが、名前がGRACEに決まってから、衣装の雰囲気も変わってきましたね。

**細川** 結構ポップな楽曲を「かわさきジャズ」ではやっていたんですよ。なので、GRACEになってクラシックの楽曲を取り上げると、一気に洗練された感覚になり



細川千尋

ました。それも、以前にいろんな楽曲をこの3人でやってきていたから。この3人だからこのサウンドが出るよね、っていうイメージが付きやすかったんだと思います。GRACEとしてやっていくことになって、いろいろそぎ落とされて、より洗練したように思います。

——それぞれ違う音楽的なバックグラウンドがあるかと思うのですが、みなさんが音楽を始めたきっかけやプロになろうと決意したタイミングを教えてください。

**細川** 私は母がピアノの先生だったので、おもちゃ代わりにピアノを触っていたんです。その延長線上で、ずっとピアノを続けていたんですが、プロになろうと思ったのは、2013年のモントルー・ジャズ・フェスティバルに出たとき。その頃、私は弾く方に進むのか、それとも作る方なのかを悩んでいたんですが、あの場で、弾く側の人間としてパフォーマンスしていきたいと思いました。やっぱり、ジャズのその場で作り上げていく感覚は楽しいですね。GRACEでも、楽屋の雰囲気がそのまま演奏に反映されている感じがします(笑)

**はたけやま** ピアノを4歳から習っていましたが、パーカッションは友人の見学に付き添いのつもりだった吹奏楽部で激しく勧誘されたのがきっかけ。アルトサクソスをやりたかったんですけど、リズム感がいいから、とパーカッションになったんです。だから、最初は好きじゃなかった(笑)。でも、「向いてるから続けた方がいい」と言ってくさる方がいて、その方がプロの奏者を紹介して下さったんです。それでその気になって、音大を目指すようになりました。大学卒業時には日本打楽器協会新人演奏会で最優秀賞をいただきましたが、その時に私はもっといろいろなジャンルの人と演奏がしたいし、いろいろな人に聞いていただきたいと自覚しました。ジャズを始めたりしたもの、いろいろなお誘いがあったこと。ジャンルにこだわらずにいろいろ吸収して、自分の表現を探したいと思ったのは、その時だったかも知れません。



はたけやま裕

**山下** 私の場合は、母がピアノ、父がトランペットをやっていて、小さいころから音楽を学んではいましたが…それが、ものすごく嫌で(笑)。ずっと「もう辞める！」って言い続けていました。でも、吹奏楽部でフルートをやるようになってから楽しくなってきた、フルートで短大に進学したんです。でも、フルート奏者ってたくさんいるんですよ。それでも卒業後も続ける人はほとんど居なかったし、私自身も今後どうするかわからない状態でした。そんな時、アルバイトでラウンジ演奏をしていたんですけど、お客さまから映画音楽の「ひまわり」を弾いてとリクエストを受けたんです。当時はその曲を知らなかったの、曲を調べてみたらまたま動画サイトでクロマチックハーモニカに出会ったんです。もう一音で聞き惚れてしまっ、すぐにアポを取ってお会いしたいとお伝えして、1週間後には大阪行きの



チケットを買って、先生のところを訪ねていました。そこからクロマチックハーモニカを続けてコンクールにも出ていたんですけど…これで最後にしよう、と思った3度目のコンクールで総合グランプリをいただけて、この道が続けていいんだと思えましたね。

——そんな3人が集まって作りあげるGRACEのサウンドとはどのようなものなのでしょうか。

**山下** やっぱり女性らしいサウンド感ですね。3人が共通して”カッコ良さ”を求めている感じがして、リハーサルでもみんなの意見が一致することが多かったんです。千尋ちゃんがアレンジしてくれたクラシックの楽曲も、ヨーロッパ的な香りが出て、その雰囲気もすごくGRACEらしいサウンドなんだと肌で感じられました。

**細川** クラシックの作品をアレンジするときに難しいと思う部分は、キレイになりすぎてしまうことなんです。クラシックの世界観を大事にしすぎてグルーヴ感が失われてしまうと、ジャズが好きな私としては少し物足りないんですね。そのあたりの認識が3人で共通しているのは強みだと思います。特に、裕さんのグルーヴ感がすごいですよ。世界を変えてくれるのが裕さんですね。裕さんがすごく大きなアレンジをやってくださっていて、私はちょっと音楽的なちよっかいをかけている感じ(笑)。そして伶ちゃんが真っすぐな音でメロディを美しく奏でてくれている。そのバランスが絶妙なんです。



**はたけやま** なんかもすごく嬉しい(笑)。そして、3人とも音大出身だなあ、と思いました。でも、それだけの世界だとキレイになりすぎて、グルーヴって弱くなっちゃう。私に関しては、ジャズだけじゃなく、ポップスだったりフラメンコだったりソウルだったりロックだったり、もうジャンル問わずにやっていくというのがこだわりで、



そういうバックグラウンドがあるからこそ、自分の大きなものがあると思うんですよ。千尋ちゃんが言うように、音楽的な”ちよっかい”に対して、私も面白くなっちゃって、またそこから広げて行ったりするんです。そうやってワーツとやっている2人の音を、キレイな音色で伝えてくれるのが伶ちゃん。だから、キレイな方向にもアグレッシブな方向にも3人で行ける。今日みんなの話を聞いていて、改めて納得できました。

——きらりホールでのステージでは、どのような演奏になりそうでしょうか。

**細川** クラシックのアレンジ曲は多めになると思います。ただ、そのアレンジを誰がするのかはまだ決めてないんですよ。本当にそれぞれのカラーもあるし、特に裕さんのアレンジは難しいんです(笑)。いつも練習は部活みたいな感じになりますね。

**はたけやま** どうしてもリズムでのアレンジが多くなるので…。最近だと、落語の出囃子をジャズでアレンジしたりもしたんですけど、そういう感じで、いろいろなコンセプトでやっています。楽曲さえ決まってしまうと、私たちがどうにでもなるとい音楽の信頼感はあるので、あんまり決めすぎないでも大丈夫なんです。コンセプトと、曲順などからコンサートのストーリーをつかっていくんですけど、私たちがその時々で最高のものを作っていけると思っています。

**山下** それで、いつかはGRACEならではのオリジナル曲も作りたい！ その曲も、いつかお届けできたらと思います。

——今回のステージで初めてジャズに触れるような方もいらっしゃると思います。きらりホールでの演奏の楽しみ方を教えてください。

**山下** 私は先日、ファミリーコンサートできらりホールにお邪魔したんですが、ファミリーでいらっしやっている方が多かったんですよ。ホール自体にお客さんがついていて、ここでやる公演をいつもご覧になっていらっしやるんじゃないかという印象でした。ジャズはこの場だけで作りあげられるもので、決められたものじゃないんです。だから、きらりホールならではの雰囲気も含めて楽しんでいただければと思います。



山下 伶

**はたけやま** 楽曲もみなさんが良く知っている曲を取り上げていますし、それをきらりホールの場で作っていくとこんなふうに変っていくんだ！という変化を楽しんでいただくのも1つ。よく知っている曲の、この場所ならではの变化を楽しんでもらえたら。

**細川** ジャズは静かにシーンと聴いていなきゃいけない、というものでもないんです。客席のみなさんにも参加していただくような雰囲気があるんじゃないかと思っていますので、ぜひ一緒にスイングして楽しんでいただければと思います！

——素敵なステージを期待しています！ 本日はありがとうございました。

インタビュー・文／宮崎新之

全席指定(税込)/11月1日(水)発売

友の会会員/先行j発売中

当日売は友の会、一般共に4,500円

一般 4,000円  
高校生以下 1,500円

一般 3,000円  
高校生以下 1,000円

※小学生以上入場可 ※親子席に限り未就学児入場可(先着順)  
※お電話にてお申込みの場合は、原則として公演前日までにチケットのお引き取りをお願いします。※お買い上げいただきましたチケットのキャンセル・変更はできません。※友の会先行予約・販売は、10月19日時点の入会が必要です。